



進 交 会 報



～人と進んで交わり、共に資質を高めよ。～

進交会は、横浜市立大学（市大）と横浜市立横浜商業高等学校（Y校）の同窓会です。
「人と進んで交わり、共に資質を高めよ。」は、Y校初代校長の美澤進先生（福沢諭吉の高弟）の言葉です。



SDGsオンラインセミナー



卒業式



進交会館



秋のメインストリート



春らんまんの中庭



本館玄関



附属病院(福浦)

挨拶・浜大祭案内	二
アジアのなかの日本を考える 金子文夫名誉教授	四
同窓会の活動	六
活躍する卒業生	九
活躍する学生	十一
大学だより	十二
支部だより	十四
進交会だより	十五
訃報・編集後記	十六

Y校はY専より横浜市大までのあゆみと進交会
 明治15年（1882年）横浜
 商法学校が誕生し、種々の変遷
 を経て、7年制（本科5年・専修
 科2年）の横浜市立横浜商業学
 校（旧Y校）となりました。
 その専修科が、昭和3年（19
 28年）に横浜市立横浜商業専
 門学校（Y専）に昇格、その後、
 昭和24年の新制大学発足に伴い
 横浜市立大学商学部へ改称し金
 沢八景に移転しました。
 本科は今の横浜市立横浜商業
 高等学校（Y校）として140年
 以上の伝統を継承しています。
 進交会はY校とY専のルーツ
 が同じであることから、Y校・横
 浜市大の単一の同窓会として現
 在に至っています。

発行 一般社団法人 進交会

〒231-0012 神奈川県横浜市中区相生町 6-111 電話 045-681-6575 FAX 045-681-6585

Mail : shinkoukai@nifty.com (進交会) ycureunion@gmail.com (横浜市大同窓会) HP:https://shinkoukai-web.jp

進交会員の皆さまとワンチームで

進交会理事 古屋文雄



会員の皆さまには、いつも進交会事業にご協力ご支援を頂いており、厚く御礼申し上げます。

申し上げます。この3年半は新型コロナウイルス感染症により、会員の皆様は本当に大変な日々をお過ごしのことだったと思いますが、コロナの位置づけが緩和され、社会全般もようやく平常に戻ってまいりました。

進交会もお陰様で同窓会員相互の交流が再開されています。進交会命名の由来は「人と進んで交わり共に資質を高めよ」の美澤進先生の教えによるものであります。

昨年は、Y校は140周年を迎え、市大医学部附属2病院も150周年の記念イベントが開催されました。進交会は、会員相互の交流をさらに進めるとともに、母校の発展を支援して、皆さまとともにワンチームで同窓会活動を進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

会報の分冊発行は3回目となり、分冊にしてよかったという声が多く寄せられています。進交会は「持続可能な進交会」に向けて次世代会員として中年層、若年層の会員に積極的に仲間入りしていただくことが急務です。母校愛を育み、同窓会である進交会への理解と関心を抱いていただけるものと期待します。

来春5年ぶりに開催される新年会で元氣な皆さまとお会いできるのを楽しみにしております。

最後に、会員の皆様のご健勝とご健康を心より祈念いたします。

温かなご支援に感謝

横浜市立大学学長 相原道子

日頃から横浜市立大学に温かいご支援をいただきありがとうございます。



新型コロナウイルス感染症が今年の5月に2類から5類に引き下げられ、キャンパス内に残っていた制限も多くが解除されました。11月の浜大祭もコロナ前と同じ形で開催される予定です。

本学では、2028年に迎える創立100周年に向け「横浜市立大学の歴史を知る講演会」を開催しており、第5回目を12月に開催する予定です。ご関心のある方は、ぜひご参加ください。また、これまでの講演会はアーカイブとして本学のMOEサイトで公開しておりますので、ご覧いただければ幸いです。

創立100周年は、長きにわたり本学の歴史を紡いでこられた皆様に深い敬意と感謝の意を表するとともに、大学・病院の理想の姿を追求し、さらに次の100年に向かうための大切な節目です。本学では、現在、世界に羽ば

たくグローバル人材の育成や新たな研究創生、豊かな学生生活のためのキャンパス環境整備などを目指した取組を進めています。これらの実現のためには皆様のお力添えが欠かせません。ぜひ本学の取組みにご賛同いただき、「YCU100募金」にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



のる 大知市を会 歴史講演

大学・学生・地域の元氣に役立つ浜大会をめざして！

浜大会（横浜市大同窓会）会長・金子延康 進交会副理事長



先の横浜市大同窓会総会2023において、横浜市大同窓会の通称を「浜大会」とすることが決まり、今後は「浜大会」の名を積極的に使っていくこととなりました。「ああ浜大の俊英われら〜」の浜大です。会員の皆さまよろしくお願いたします。

「浜大会」は長年交流会を開催してきた組織を母体として、市大創立90周年の平成30年に、同窓会の役割充実のため、進交会のもとに再編されました。この三年間は、コロナ禍のため、

同窓会活動が大きく制約されていましたが、その間オンラインを活用して活動し、現在は五年後の市大100周年に向けて、市大の全ての学部を超えて卒業生が連携して活動しています。11月4日（土）には八景キャンパスにおいて、同窓会の集まり（浜大会交流会）を4年ぶりに開催予定です、詳しくはこの会報のお知らせをご覧ください。

「浜大会」の会則にある3つの事業、①会員相互の交流、②大学・学生への支援、③地球・地域の持続的発展(SDGs)への貢献など、コロナ禍での経験をプラスに活かして、オンラインも併用して取り組んでまいります。

市大卒業生の会員は約3万人ですが、皆様それぞれ特色ある経験、ノウハウ、ネットワークをお持ちです。一人ひとりの力は小さくなくとも、課題を共有して繋がれば大きな力になり、難しい課題をも解決でき、貢献が元気に繋がります。今何が必要か真剣に考え、自分は何ができるか真剣に考えて、皆で連携して一歩進める、そのためのソフトなインフラとして同窓会はお役に立てるはず。そんな皆様の思いの実践として、この会報には最近の具体的な取り組みを紹介していますので、ぜひご覧ください。

「浜大会」は、会員が繋がり、大学・学生・地域の元氣に役立つ同窓会をめざしています。会員の皆さま、ぜひ、楽しみながら繋がって、一緒に一歩進めましょう！

横浜市立大学病院150周年
記念イベント

俱進会会長 遠山 慎一



昨年の10月1日(土)金沢公会堂で横浜市立大学付属病院の原点である早矢仕

有的医師が1871年に開設した仮病院の150周年記念イベント(オンラインを含む)が開催され511名が参加されました。

仮病院設立150周年は2022年10月に横浜市立大学医学部発祥の地、現在の南区公会堂で挙行の予定だったのですが、コロナワクチン接種場所となったために金沢公会堂となりました。式典では、山中竹春横浜市長はじめ5名の来賓からご祝辞を頂き、地元の岐阜県山県市からは、早矢仕有的顕彰会会長大野泰正参議員議員をお招き致しました。式典の第2部パネルディスカッション「150周年に感謝、そして横浜と医療の未来に向けて」(司会：後藤隆久先生、対談者：南場智子氏、中内啓光先生、武部貴則先生)は、短時間でしたが、医学部のあるべき将来、医療の将来の示唆に富んだ内容でした。式典で上映された「横浜市立大学付属2病院・医学部の歩み」は150年の歴史が手際よくまとめられており、今後多くの機会で見られる秀逸の出来栄です。次の200周年記念式典が新たに統一された新病院のヘボンホールで開催されることを楽しみにしています。

会員のニーズに沿った活動の一層の充実を目指して

「看護」交流会会長 前澤 美佳



横浜市立大学「看護」交流会では、現在1,200名を超える在校生・卒業生の皆様にご加入いただいております。昨今は新型コロナウイルス感染症流行の影響により、大人数での集会等が開催できない状況にありましたが、5類感染症への移行などの社会情勢を鑑み、今年度は本格的に活動を再開していきたいと考えています。在学生を対象に海外フィールドワークや学会参加費の補助や、卒業生に就職活動や国家試験対策等の相談ができる集会の開催等を検討しています。また、外部講師を招聘し看護に関連したテーマで講演を依頼する「講演会」についても、在校生のニーズも調査しながら検討していきたいと考えております。卒業生には、会費補助や、リカレント教育を目的としたセミナーの開催などの活動を通じて還元をしていきたいと考えています。

「看護」交流会では、近年、看護学科の入学時オリエンテーションでの活動紹介等の広報活動により、非常に多くの新入生の皆様にご加入をいただいております。今後はより一層、会員の皆様のニーズに沿った実のある活動を推進していきたいと考えております。

進交会賞の授与

令和4年度の進交会賞は、令和5年3月16日にシーガルホールにて金子延康進交会副理事長(横浜市大同窓会会長)から各学部代表に授与されました。

- 国際総合科学部 川口あずさ
- 国際教養学部 菅野有紗
- 国際商学部 清水未海
- 理学部 寺内 佑希
- データサイエンス学部 竹之下 秀男
- 医学部医学科 渡邊 優奈
- 医学部看護学科 藤田 光音

おめでとう!



(敬称略)

第73回 浜大祭
11月4・5日(土・日)
金沢八景キャンパス
90の学生団体が終結
浜大祭ホームカミングデー
4日(土)13:00~14:30@第一講堂
相続・贈与の基礎知識
~相続、相続税対策、遺言書、遺贈のメリットなど~
講師：税理士・行政書士 浅木克眞氏(商昭52卒)

横市大同窓会(浜大会)大交流会
八景キャンパス・シーガルホール
11月4日(土)15:00~17:00
(受付14:30)
美味しいお食事(飲み放題付)
学生・OB/OGによるアトラクション
会費6,000円

お申込み ycureunion@gmail.com
☎ 045-681-6575 (進交会事務局)
090-2409-8210 (事務局 西尾)
申込締切：10月25日(水)



メールアドレスと新住所を教えてください。
同窓会活動目的のために使わせていただきます。
ご登録をよろしく願います。



浜大会活動にご協力ください
(永年会費20,000円/年会費2,000円)

振込先：りそな銀行 横浜支店
普通預金：1218647
口座名義：横浜市立大学同窓会
◎進交会とは別枠です。
◎氏名、卒年、学部の記入をお願いします。

アジアのなかの日本を考える —『日本の東アジア投資 100年史』刊行に寄せて—

金子 文夫（横浜市立大学名誉教授）

新型コロナウイルス感染拡大により、会員の皆様は本当に大変な毎日をお過ごしのことと存じます。

私は2022年3月、横浜市立大学学術研究会の助成を得て、『日本の東アジア投資100年史』（春風社）を刊行した。それまでの研究成果に新たな知見を加えてまとめたもので、統計整理を中心とした歴史研究であり、戦前3章、戦後3章、計6章の構成とした。

本書を支えている現代的問題意識は次の3点に要約できる。第一に、過去東アジアで日本が有していた主導的地位は、現在、中国にとって代わられたのではないか、第二に、日本の対外投資が日本経済にもつ意義は近年転換期にあるのではないか、第三に、対外投資における国家の役割は戦前と戦後では異なるが、そこに共通点もあるのではないか。以下、本書の紹介を兼ねつつ、3点の内容を述べていきたい。



アジアのなかの日本を考える
『日本の東アジア投資100年史』

東アジア経済圏における日本と中国
東アジアの範囲は日本、朝鮮（韓国）、中国、東南アジア地域とするが、この経済圏について特に日本と中国の地位に焦点を定めて長期の文脈で捉えると、次の5期区分が成り立つ。

第1期は19世紀前半まで。中国は清朝の時代に帝国の版図を最大化、東アジアに朝貢・冊封体制という広域システムを形成した。日本は鎖国時代であり、長崎を通じた貿易があったが、中国への朝貢は行っていない。

第2期は19世紀後半、アヘン戦争から日清戦争まで。欧米列強の圧力によって、朝貢・冊封体制は解体過程に入り、日本は不平等条約で開国し、東南アジアは植民地化された。日中関係は条約上対等になった（1871年日清修好条規）。

第3期は20世紀前半、日清戦争からアジア太平洋戦争まで、本書の第1〜3章の時期。

日本は日清戦争、日露戦争、第一次大戦、満州事変、日中全面戦争、太平洋戦争と続く戦争により植民地・勢力圏を拡大、「大東亜共栄圏」を形成。そこに投資を集中してインフラを造成し、資源を収奪した。中国は半植民地状態に陥り、東アジア経済圏では日本の主導的地位が確立した。

第4期は20世紀後半、第二次大戦の終結、戦後冷戦構造の形成から解

体まで、本書第4〜5章の時期。日本は戦後復興・高度成長を達成し、世界第2位の経済大国になった。東アジアの植民地は独立して経済建設を進め、それに対して日本はODA・直接投資・貿易の三位一体の方式で影響力を行使し、主導的地位を再び獲得した。中国は社会主義体制のもとで封じ込められ、その後改革開放に転じたが、経済力は低水準にあった。

第5期は20世紀末から現在まで、本書の第6章の時期。冷戦終結後、日本経済の低迷と対照的に中国は高成長を続け、2010年にGDPで日本を追い抜いた。韓国・台湾・東南アジアの経済成長も著しかったが、そのなかで貿易では中国が主導的地位を獲得（図表1）、ODA・直接投資ではなお日本優位だが、中国もその増強を図っており、中国が日本から主導権を奪取る過程にある。

図表1 最近の東アジア貿易圏における日本と中国の位置

			(単位: %)		
			1980	2000	2019
東アジアの貿易全体に占める日中両国の割合	日本	輸出	47.9	28.9	13.1
		輸入	44.5	25.1	14.1
	中国	輸出	6.7	15.1	46.3
		輸入	7.0	15.7	39.3
日中両国の対東アジア貿易依存度	日本	輸出	25.4	39.6	46.2
		輸入	24.7	42.1	45.9
	中国	輸出	52.8	47.4	26.8
		輸入	39.5	64.9	30.0

出所：財務省

対外投資が日本経済に有する意義
戦前の対外投資は東アジアに集中していた。1936年時点での投資累積額の地域別比率は、満州40%、朝鮮23%、中国本土18%、台湾6%、その他13%（主に東南アジア）であり、欧米等への投資は僅少だった。

対外投資の内容は、国家資本による鉄道建設（満鉄、台湾・朝鮮鉄道）、对中国政府借款、財閥資本による商工業・鉱業投資、それに加え中国本土の紡績業、台湾の製糖業、朝鮮の化学・電力など地域特性に応じた大規模投資があり、さらにその周辺に中小規模の商工業・サービス業投資が広がり、これは移民の増加に対応していた。

戦後の対外投資は証券投資、借款（ODA、商業借款）、直接投資等へと多角化した。中核をなす直接投資も地域・部門ともに多様化し、投資残高の地域別構成は北米30%、欧州29%、アジア28%、その他13%となった（2019年）。

対外投資が日本経済に有する意義は、戦前は鉱業資源・農産物獲得が主であり、それを支えるインフラ開発投資があった。戦後は、それに加えて投資先の労働力利用、市場確保の意義が加わった。共通するのは、対外投資と貿易が並行して増大した点である。

ところが、21世紀に入り、対外投



出所：財務省

資と貿易、そして国内経済との乖離が生じつつある。輸出総額は2007年の84兆円をピークにして、以後は減少、低迷を続けた。一方直接投資残高は2009年68兆円から2022年275兆円へと4倍以上に増大した。この変化は製造業の海外移転、産業空洞化の結果といえる。国内の製造業従業者数は1990年から2020年の間に3割減少し、対照的に海外の従業者数は3倍以上に増大した。

この変動は日本の国際収支構造の転換をもたらした。経常収支黒字は長い間、貿易収支黒字によって支えられてきたが、現在は輸出の伸び悩みによって貿易は赤字基調に転換している。それに代わって対外直接投資、証券投資の収益還元により第一次所得収支の黒字幅が拡大し、経常収支黒字を支えるようになった。今や日本は「貿易立国」から「投資立国」に転換した（図表2）。

国家の役割の戦前と戦後

戦前日本の東アジア投資では国家の役割はきわめて大きかった。第一に、植民地・勢力圏の獲得を前提に投資活動が展開された。第二に、投資の実体としても国家（政府資金）の役割が大きかった。台湾・朝鮮の鉄道事業は総督府の直営であり、対中国政府借款は日本興業銀行・横浜正金銀行等の特殊銀行が担い手となり、原資の一部は大蔵省預金部資金だった。なかでも、半官半民の開発投資企業が各地域に設立された意義は大きい。これはそれ自体が事業体であると同時に、民間資本導入を媒介する役割を果たした。

戦後の対外投資は民間資本中心に推進されたが、国家の役割がなくなったわけではない。第一に、日本輸出入銀行（現在は国際協力銀行）、海外経済協力基金（現在は国際協力機構）といった政府出資の特殊法人が民間投資を支えた。第二に、ODA（円借款等）が、戦後賠償を起点にアジアに集中的に投入された。これは経済インフラ、社会インフラ建設に重点的にあてられ、民間資本の進出の基盤を整備した。

戦前と戦後では、国際環境が大きく異なっているため、戦前のような国家資本系企業が海外に設立されることはなくなった。代わりに円借款が相手国政府に供与され、インフラ建設という共通の機能を発揮した。

戦前は軍事色が濃厚だったが、戦後は「平和国家」として経済主義に徹した。

しかし、近年のODAをみると軍事的色彩が入ってくる兆候がある。ODAの理念を明文化した「政府開発援助大綱」（1992年策定、2015年に「開発協力大綱」に名称変更）をみると、平和主義の基調が明確であり、軍事的援助は否定されている。そのなかで、近年は国家安全保障戦略との関連が強調され、例外的に相手国軍部への供与も可能となってきた。その延長上に、ODAとは別カテゴリーのOSA（政府安保援助）が登場し、無償の軍事援助への道が開かれつつある点には注意を要する。

以上、3点に渡って本書の背後にある問題意識を述べてきた。全体をまとめると、①東アジア経済圏の主導権が日本から中国に移行しつつある、②日本の対外投資が貿易と並行して拡大する時代から、乖離する時代へと転じている、③国家資本の役割はインフラ建設の点で戦前・戦後は共通する一方、戦前は軍事的、戦後は平和主義という明白な違いがあったが、最近のODAには安全保障の観点が強調されるようになった。このように現代はまさに大きな時代の転換期にあるといえる。



“ I Care Everybody Company ”

あらゆる人々に慈しみの心をもって接する企業でありたい



フローズン事業部
アイスクリーム・冷凍食品の卸売



スーパーマーケット事業部
スーパー生鮮館TAIGAの運営

株式会社 **アイスコ**

神奈川県横浜市泉区新橋町1212
TEL : 045-811-1302 FAX : 045-812-1001
(Y校 昭和41年卒)

同窓会の活動

3月11日、みなとみらいサテライトキャンパス会場&オンラインでの横浜市大同窓会主催のシンポジウムが開催されました。東日本大震災から12年後の14時46分、女川の若者たちとオンラインを通じて黙祷をしました。

【キーントスピーチ・モデレーター】

森田明彦氏…(株)グローバルリーダースHIP教育研究所代表取締役、元(財)日本ユニセフ協会広報室長、尚綱学院大名誉教授。主な著書『世界人権論序説』(藤原書店、2017)

基調講演「子どもはどこから来て、どこへ向かうのか?」

1923年に子どもの権利条約採択に重要な貢献をした西洋や東洋の人々が20世紀初頭の帝国主義華やかなりし頃から子どもの権利を通じて非常に深い繋がりがあったのではないかと、いふ仮説をもとに、子どもが意見を表明する権利は昔から唱えられていることを教えていただきました。

「子どもはどこから来て、どこへ向かうのか?」の答えは、「地域社会は、ローカルにも、グローバルにも開かれ、繋がっていく力を持っている。そして、子どもには、ローカルにもグローバルにも開いていく力がある。」「子どもは地域社会から来て、地域社会に向かう。子どもは地域社会を必要とし、地域社会は子

どもを必要とする。大人は、子どもが成長できる地域社会にするために、主体的でなければならぬ」というものでした。

【パネリスト】(写真右から)

- ◆丸山真澄(文理2002年卒)
- ◆光山瑞穂(医学部医学科6年)

one by ONE 代表



◆前田憲人(医学部医学科6年)

2022年度 Student Award を受賞

◆橋本みなみ(国際教養学部2年)

◆森田明彦(敬称略、学年・役職等は2023年3月時点のものです)

◆オンライン参加

「女川1000年の命を守る会」

東日本大震災当時、石巻市立桃生中学3年生だった若者4人

震災後、町内にいのちの石碑(21基)を自分たちの力で建立。命を守る活動は後輩が継承。

☆その後、「子どもの参画」活動に共感した現桃生中学3年生4人が4月26日に横浜市大を訪問。

その子らしい笑顔のために

one by ONE 現代表

中道陽菜(医学部看護科3年)

one by ONEでは、入院中の子どもたちにオンラインでの家庭教師とイベントを行っています。団体設立のメンバーが卒業して4月から学生の代表が引継ぎとなりましたが、「気にかけてくれる人がいると感じてほしい」「制限のある中でも少しでも楽しく過ごしてほしい」という設立からの想いを大切に今年度も活動しています。

「できた!」という自信からあふれる笑顔や「この時間だけは楽しく頑張れる」「イベントの記念品を飾って治療を頑張ります」という声を子どもたちからいただいたおり、これからの活動を通してその子に自らの自信や笑顔、エネルギーにつなげていきたいと思っております。今後にもさらに多くの子どもたちに活動を通じて動を届けていきます。



暮らしの足下から未来を見つめる

みんなの放課後クラブ代表

丸山真澄(文理2002卒)

市大の恩師、加藤彰彦先生から現在も学び続けているのは、社会に対し「それはおかしい」と感じたことについて、自分の暮らしの足下から変えていく、自ら動きその実践を伝

えていくという姿勢です。

子どもを育てるのは実父母の責任だからと、子ども自身の辛さに気づかないふりをするのは「おかしい」。それ故に親子が追い詰められていく状況や、人の価値がまるで「スキル」や「キャリア」で読み替えられるかのような社会の雰囲気は「おかしい」。私はそう感じます。

夫婦で相談し、安心して生きる場がない子を預かって育てる「養育里親」(養子縁組を目的としない里親)になりました。今は実子と里子の4人で暮らしています。

そして、大人と子どもが出会うきっかけを作る「みんなの放課後クラブ」を仲間と始めました。子ども達が親や先生以外の大人と地域で出会い、親には言えない悩みも話せるような関係性を築けたら、その関係性は「生きていくこと」を支えてくれます。また、大人同士も一人ひとりと話ができる場をもつことで、大切なことを見失わない力を身に着けたいと思っております。

私は自分が感じる「おかしい」に従って動き出しました。皆さんが感じる「それはおかしい」は何ですか。それぞれの場で、動き出しませんか。それぞれの実践を、応援し合いたいです。



YCU REUNION SDGsオンラインセミナー 2022.9～2023.7



【9月27日】
南 翔子 南インド古典舞踊バラタナティウム舞踊家 (2015年文理卒)
「南インド舞踊から垣間見るインド文化」



【10月18日】
飯田 峰子 yururisono×HanaUta Cafe、(株) 共路観光 代表取締役、横浜ひらがな商店街Westアベニュー会長 (2002年文理卒) 「起業&子育て、まちづくりに挑戦中」



【11月22日】
野口 理佐子 (一財) C.W.ニコル・アフターの森財団専務理事 「森から日本の未来を考える～C.W.ニコルが日本に遺した未来」



【12月13日】
小島 芳実 (株) GLOBE代表 (1984年文理卒、ドイツ国立マンハイム大留学) 「超新星のように輝いて弾けて 命を燃やしていこう」

YCU REUNION SDGs セミナー、シンポジウムのYouTube動画はQRコード、または進交会ホームページからご覧いただけます。



【1月17日】
村田 千尋 (株) Color Your Life 代表 (2009年国際総合科学部卒) 「ライフキャリアを考える～自分らしく起業するためのこれまで～」



【2月14日】
風間 茂 さくらプロジェクト日本事務局代表 (1974年商卒) 「タイ山岳民族の子どもたちとともに30余年～さくらプロジェクトの活動の軌跡」



【3月11日】
YCU REUNION SDGsシンポ2023 「“子ども世代”にとって必要なことはなんだろう?～地域から応援できること～」



【4月11日】
橋本 みなみ NPO法人ミニシティ・プラス理事 (国際教養学部3年) 「子どもの社会参画とは?～地域社会を変える実践例から」



【5月13日】
原口 淳 横浜市大後援会会長、元コニカミノルタ・ジャパン代表取締役社長 (1979年商卒) 「歌って踊れるサラリーマン海を渡る」



【6月20日】
高瀬 雅弘 (株) フラクタルワークアウトCEO (2017年国際総合科学部卒) 「筋肉で日本を笑顔にする!～市大OBの若手起業家の日本健康計画～」



【7月25日】
服部 諒 (国際教養学部4年) & 松本卓也 (JR東日本企画 2013年国総卒) 「現役生と卒業生が目指す豊かさの指標とは～福島県田村市での実践の振り返りとこれから～」

3年ぶりの浜大祭

◆第72回浜大祭への提供企画 By 横浜市大同窓会

“World YO-YO Champion SHU TAKADA 驚愕のパフォーマンス”

世界大会6度の優勝経験を持つ高田柁さん（2021年国総卒）



◆ホームカミングデー By 横浜市立大学

◎遺産・遺贈セミナー「遺言による寄付のメリット・留意点と具体例」

◎「子どものためのアントレプレナーシップ」ワークショップ
講師：共有倶楽部 代表 柿木結允さん（国総2017卒）

◆3年ぶりに集まろう同窓交流会

◎齋藤毅憲 横浜市大名誉教授 記念講話
「Y専の歴史～横浜市立大学の源流」

◎交流会には小山内横浜市大理事長や台湾から王維美さんも来日、若い世代の皆様や、水泳部OB・OG会元会長齋藤孝雄さん（90歳）もご参加、大変お元気なご挨拶をいただきました。



通称「浜大会」に決定！

【第1部】横浜市大総会2023（6月17日）

進交会館において開催されました。議案がすべて承認された後、横市大同窓会の通称を「浜大会」（ハマダイカイ）としたいと事務局から提案があり、「異議なし」の声と全員の拍手で承認されました。校歌の歌詞に「ああ浜大の俊英われら～」とあること、大学祭は昔から「浜大祭」の名前で親しまれていることが、その根拠として挙げられました。



【第2部】

金子文夫横浜市大名誉教授の記念講話「アジアの中の日本を考える『日本の東アジア投資100年史』より」（講話の内容は本紙p.4-5に掲載）

【第3部】

懇親交流会

協力団体とのコラボ

◆海をつくる会

毎月、野島海浜清掃作業に協力

◆Sera Creations

一龍の棲む森プロジェクト協力

一環境のためのトーク&コンサートに協力



金沢八景・野島海岸



龍の棲む森プロジェクト

🌿 を押してCO₂を減らそう！和歌山県龍神村には浜大会からこれまで2本の植樹。ご協力をお願いします。



江守正多氏（地球システム領域上級主席研究員）のトーク&コンサートに協力 2023.1.8



トルコ・シリア大地震支援チャリティコンサート協力 2023.6.2

「新住所教えてね！」

「進交会報」が届くようにという願いを込めて卒業式にレター1,200部を配置しました。



創業90周年の 総合印刷メーカー

横浜リテラ

全作業エリアにクリーン環境を配備した
アッセンブリ加工に特化した新工場が稼働中！
詳しくはQRコードから



ご相談・お見積りなどお気軽にお問い合わせください

〒245-0053 横浜市戸塚区上矢部町1965-4 TEL:045-811-2821

活躍する卒業生

絶唱浪曲ストーリー

川上アチカ監督(文平13卒)

映画監督川上アチカさんは、日系アメリカ人の強制収容経験を題材にしたドキュメンタリー映画『Pilgrimage』(巡礼の旅)で「キリンアートアワード2001」準優秀賞を受賞。その後フリーの映像作家に。今年、8年がかりで制作されたドキュメンタリー映画「絶唱浪曲ストーリー」が7月から全国公開。

―なぜ、浪曲の世界を映画にしよう?―

「魂を揺さぶる日本の表現」を探していたフランスの映像作家との出会いがあり、ある人から「浪曲師の港家小柳(みなとやこりゆう) 師匠を観るといい」と勧められ、定席を訪れました。未知の芸能に興味を湧きました。演目が進んで小柳師匠の番になると、空気が一変して、私は江戸時代のその物語に完全に入り込んでいました。翌日も小柳師匠の魔法にかかりたくて聴きに行きました。しばらくして、病から復帰した小柳師匠の69周年を祝う独演会のニュースが飛び込んできた時、



私は師匠の芸の記憶を掬い取っておきたいという考えが頭から離れず、自らの決断で撮影を始めました。

―主人公の小そめさんが、現代の生きづらさについて語りますが、監督はどんな気持ちでしたか?―

あのセリフが出たとき、自分も感じていたことを小そめさんが言ったので驚きました。SNSで自分の意見と違う人は簡単に切ってしまうようなことがあると思いますが、そういうことの行きつく先は何なんだろうと思っていました。

浪曲の世界の、特に年配の師匠たちには、それとは異なる正直な付き合い方がある気がして。例えば小柳師匠が同じセリフを何度も繰り返した日、曲師(三味線)の沢村豊子師匠は楽屋で怒るんです、すごく怒ってるんですけど、豊子師匠の手は常に小柳師匠の背中にあつて、体に手を当てながら怒るって凄いなあと思いました。皆さん言いたいことははっきりおっしゃるんですが、その根底のところには愛があるんです。人との正直なやり取りとか、迷惑をかけあつて、お互いに受け止め合つて、生きていけばいいんじゃないかという感じ、丸ごとひっくり返るまで互いを大事にして生きていくって凄いなと思つてます。

―小そめさんが小柳師匠を訪ねた時の、病床の小柳師匠の手の動きが美しかったです。何か意図したことがあったのですか?―

小柳師匠の本名は岩橋利江さんと言いますが、病床におられるのが小柳師匠なら撮らうと、岩橋さんなら撮るのは止めようと思つていました。

私は小柳師匠が岩橋利江(本名)さん

の中に立ち上がってくるのを待つていました。あの時は、カセットテープがまわつていて、窓から入ってくる光とか、音もエコーがかかつて部屋中に充満していて、全体の境界線が淡くなるような感じがありました。神々しいような時間でした。小柳師匠の浪曲が戻ってきたという時間帯で、躊躇なくカメラを向けました。

浪曲の物語は生き物みたいに人から人へ移っていく。教科書のない世界で芸は体から体へ移っていくんです。小柳師匠の体のなかに入っている物語が、小柳師匠が亡くなったならそれも無くなつてしまふんじゃないかという気持ちがありました。私は小柳師匠の体の中の浪曲の最期の叫びを見たような気持ちになりました。小そめさんに見せた最後の舞台だったんじゃないかと思つて撮っていました。

―後輩に伝えたいことは?―

続けることの強さであると思う。人と違うことをやろうと思うと、成し遂げるために何倍ものエネルギーと時間とお金もかかるかもしれない。既存の社会の受け皿にはまらず、孤独とも向き合うことになるかもしれない。でも、どうしても、それをやらなければ前に進めないと感じる事があつたら、怖がらずに挑戦した方がいい。何度も弱音を吐きながら、その役目を担うことに自分の身体を投げ出して、捧げ続けてみた先にやっと見えてくる景色があると思う。

(聞き手 同窓会事務局 西尾留美子)

明日にいいこと。つなげる、つづける。



セブン&アイ HLDGS. <https://www.7andi.com>

お元気なうちに入居する高齢期の住まいを提供します

公益財団法人 **ニッセイ聖隷健康福祉財団**
e-mail: suzuki@nissay-seirei.org
1986年市大卒
常務理事 鈴木貴之
奈良(募集担当) TEL0800-888-4165
松戸(募集担当) TEL0120-82-4165

一般財団法人 **くまのの里**
日本老人福祉財団
e-mail: maekawa@yuyunosato.or.jp
1999年市大卒
本部 人事総務部長 前川規
TEL03-3662-3611

社会福祉法人 **エデンの園**
聖隷福祉事業団
e-mail: ukegawa@sis.seirei.or.jp
1999年市大卒
宝塚エデンの園 園長 請川哲也
TEL053-413-3294

驚きの素晴らしい会合が進交会にあります

～毎週2回「同窓会」開催中～

進交会 囲碁クラブ 大塚 隆 (Y校昭29年、市大商昭33卒)

進交会の囲碁クラブの募集広告が、「Y校だより」に載っていたので、早速、昨年11月に入会しました。例会は、毎週火曜日と土曜日に開催され、和気あいあい、かつ、真剣に碁を打っていました。会員はY校と市大の卒業生なので、入会した瞬間に旧知の感じで、会の雰囲気に溶け込めました。

午後4時に碁会が終わると、時間の都合のつく人たちが2Fのみなど倶楽部に集まって、ビールやコーヒー等で雑談をします。雑談の内容は、学生時代の思い出話や同級生・先輩・後輩の動向、卒業して勤務した職場の話、現在の境遇等々です。それぞれの人の卒業年度が違うので、話がいくらでも続きます。

毎週2回も「同窓会」が開催されている感じで、青春に戻れる貴重な会合です。こんなに素晴らしい囲碁クラブは、日本中どこを探してもないでしょう。



進交会囲碁クラブからのお知らせ

毎週火・土曜日午後、進交会館3階で囲碁を楽しんでいます。対局後は2階のみなど倶楽部で親交を深めています。皆さんも参加しませんか？(見学歓迎)
問合せ：進交会事務局 ☎045-681-6575

会長 宮村 薫 (商昭38卒)

小柴学生自治寮OB幹事会

幹事長 須田 繁 (文昭44卒)

令和5年8月3日みなと倶楽部において小柴会幹事会が行われました。小柴学生自治寮は、昭和28年11月1日に創設された横浜市大の学生自治寮です。当時、大学管理下の「白鷗寮」はありましたが部屋が足りず、地方出身の学生たちは自力で何とかしようとして小柴にある海苔づくりの家主に掛け合い、1棟を借りることができたのです。当時の収容人数は30人、食費は4,300円位で、学校管理を頼むも財政難のため断られ、やむなく自治寮となりました。*幹事会では「創設65周年記念誌」を見ながら70年前の創設当時の苦労話があり、また「この歌(小柴自治寮道遥歌)は我々が作ったのよ!」と笑顔もあり、小柴学生自治寮への誇りを感じました。*横浜市立大学新聞35号

他大学同窓会との交流

同窓会活動のノウハウの共有や地域課題解決などで横浜国大同窓会(富丘会)の皆様と交流。1月18日、進交会館にて。(事務局 西尾)



皆が“俊英我ら”の顔になり

39会 幹事 小峰 連太郎 (商昭39卒)

在学時、第2外国語スペイン語を履修したクラスを39会と称し平成4年の初回より毎年開催しています。コロナ禍にて(令和2～4年は中止)3年ブランクの今年4月20日に進交会館にて催しました。名簿は42名ですが(すでに17名の物故者と住所不明2名で)23名に連絡したところ、10名の出席がありました。全員八十路を超えていますが、すこぶる元気で美味しい料理とお酒に舌鼓を打ちながら話が弾んでいると、皆が“俊英我ら”の顔になり大いに盛り上がり楽しいひと時でした。

今回は卒業60年になります、元気の再会を楽しみにしています。今回お世話いただいた、みなと倶楽部スタッフの皆さん、色々とうりやうございました。



前列左より 佐野 秋山(卓)
梶谷 万字
後列左より 石川(光) 吉本
藤本 馬淵
石川(良) 小峰

同窓生のビジネスに協力

台湾支部 王 維美 (商昭62卒)

台湾鉄道弁当イベントに参加した折、崎陽軒の海外を担当している西村さん(横浜市大2001年卒)からお話を伺いました。崎陽軒は2020年8月7日に台湾に海外1号店をオープンしました。西村さんは、在学中は影山ゼミで、卒業後(株)崎陽軒に入社されました。

王：言葉の違うところでの新規事業のご苦労は？

西村：食文化の違いです。例えば、おかずと御飯を別々に食べないとか、冷めたものを好まないとか、中身が見えないと不安になるなどです。王さんに台湾人と日本人の食習慣の違いを教えてくださいましたので、崎陽軒のシュウマイ弁当は温かい状態で提供しています。中身も外からわかるようにしています。

王：台湾の政府系商社とコラボしてマンゴーを輸入することになりましたが、きっかけは何ですか？

西村：私は現地法人を設立した時点で、台湾の美味しいものを日本に紹介したいと考えていました。

王：社会に出る後輩たちに伝えたいことはありますか？

西村：自分が楽しいと思う仕事はお客様もきっと喜んでくれると思います。

食文化の違いはどちらが正しいということではありませんが、留学生だった私はみんなと一緒に食事した時に、いつもパニック状態でした。疑問ばかりで、慣れるまで時間がかかりました。

海外に進出することは苦労もありますが、視野も広がり、違う人と事と物に触れるチャンスを作ることができ、ありがたい人生経験になってくれると思います。



活躍する学生

ミニシティ・プラス

橋本みなみ理事(国際教養学部3年)

YCU REUNION SDSシンポジウム2023パネリストの橋本みなみさんと所属ゼミの三輪律江教授(NPO法人ミニシティ・プラス理事長)にお話を聞きました。

三輪…みなみちゃんがミニシティ・プラスに参加して一番良かったことってどんなこと?

橋本…参加して一番良かったのは、学校と家以外に、自分のことを認めてくれる大人たちと、多様な年齢の子どもたちがいる場所が、いつでも行ける緩い場所、そこで活動が続いてくれたことですね。家がどうしても居心地悪くなったり、学校だつて行きたくなくなることもあると思うんですけど、こういう場所があったから、私は普通に自分らしく成長できました。ミニシティの活動でいろんな大人たちに出会いました。ためになる人生談を話してくれたり、アドバイスをくれたり、いまでも私の活動を見守ってくれています。自分はこの道を進んでいいんだと思えます。

また、地域の人との関係を持っていたり、関係を構築した経験やスキルが少しでも身につけていけば、自分にも自信が持てて、社会に出た時うまくやれると思うんです。そして、私はやはり実感として、子どもの参画は大事だと思いますね。三輪…子どもの社会参画ねえ。大分前のことになると、子どもの社会参画

を実践していくフレームをつくるべきじゃないかって思って「特命子ども地域アクター」というプログラムを新しい公共として提案して、県と一緒に応募して採択されたという経緯があるのよね。



橋本さんは、ミニシティプラスには小5から参加、途中部活が多忙で離れたが高2で復帰。9月から1年間のドイツ留学を控えて今はドイツ語の勉強中。

橋本…私の特命子ども地域アクターとしての経験のひとつは、水の大切さを伝える水育デジタル紙芝居を作るプロジェクトに参画したことです。写真を撮りながら想像力を働かせて台本、歌を大人と一緒に作って、東戸塚の駅前や、キャノンの本社、都筑のお祭りなどで成作を披露しました。自分たちの作ったものが多くの人に届いたことにとっても感動しました。三輪先生は、初めはどういう気持ちでミニシティ・プラスに参加したのですか?

三輪…もともと、私は子どもが好きで、大学4年ときの卒論の研究テーマが「子どもの遊び環境の国際比較」横浜とミュンヘンの比較で、ミュンヘンに

行ったの。横浜の小学校と対比させたノイペルラッハという地区のニュータウンで、子どもたちの遊びを観察調査をして、外遊びの土壌があることが分かった。たとえば、大きな公園に「サーカスバス」が来るんだけど、いつ来るのか、何をするのかといった仕組みやスケジュールがすべてプログラミングされていたの。ドイツの施策や「ミニ・ミュンヘン」も調べてみると、とても面白そうだった。それで卒論書いて、次はトロントに行つて同じような調査をして、2年間国際比較やって、修士論文もそのようなイメージで書いた。

数年後、横浜国大に着任して、大学近くの商店街活性化プロジェクトの中で、子どもの参画とか、「外でいつ、何して遊ぶ?」という調査もやってたんだけど、そこで「ミニ・ヨコハマ研究会」を立ち上げようとしていた人たちに出会った。最初はどのようなかなあと思っていたんだけど、「ミニ・ミュンヘン」を知ってるのは私だけだったので、エビデンス的、意義的な建つけのところが私が担うことになって(略)NPO法人ミニシティ・プラスがスタートしたというわけ。

橋本…知らなかったです。いろいろ参考になります! 喉、治してくださいね。もうすぐミニ・ヨコあるんで。

◎ミニ・ミュンヘン…7歳から15歳までの子どもだけが市民になれる「小さな都市」。夏休み期間の3週間だけ誕生する仮想都市。

Rim
create the new thing and send it

広告企画・デザイン制作立案・印刷全般
スポーツウェア・ユニフォームプリント

株式会社 ライム

本社
〒231-0011
横浜市中区太田町6-84-2
大樹生命横浜桜木町ビル5F
TEL.045-306-7722

弘明寺ファクトリー
〒232-0067
横浜南区弘明寺町259
GM2ビル3F
TEL.045-315-5918

不動産の自主管理直接取引をサポート

株式会社 アセットサポート **おさぼ**

045-534-9072

『賃貸管理を思いのままに』
全てを他人に任せるのではなく、全部自分でも無い
メリットを組み合わせた賃貸管理を提案します。

後藤智恵美(商学部 昭和62年卒 旧姓:大谷)

ホームページはこちらから

日本唯一のSUP部

国際教養学部3年 YCU SUP team 中川 匠士

SUP（スタンドアップパドルボード）は、水上でボードの上に立ちパドルで漕ぐマリンスポーツです。ここ数年で知名度・人気共に急上昇したアクティビティですが、私たちは速さを競うことを主としています。

今年度、新入生が7月時点で17名新たに加わり、現在22人で活動しています。大学近くの海の公園や、横浜みなとみらい、平塚相模川で「全日本学生SUP連盟」に所属する他大学の学生と毎日技術を高めあっています。

パドルの位置や体の使い方を少し変えるだけでも速さが変わってくるので日々意欲を持って練習することができます。秋の学生選手権大会でのチーム優勝に向けさらに漕ぎに磨きをかけていきたいと考えております。今後ともご声援のほどよろしくお願いたします。

YCU SUP team



メモリースポーツで日本記録樹立！

理学部理学科4年 外園 清香

「メモリースポーツ」は、その名の通り「記憶力を競う」頭脳スポーツで、ランダムに並んだ数字やトランプなどを短時間でどれだけたくさん記憶できるかを競い合います。「記憶術」と呼ばれるテクニックを活用することで誰でも後天的に伸ばすことができます。



私のメモリースポーツとの出会いは、3年前にテレビで偶然見た特集番組です。当時はコロナ禍の真っ只中で、家で楽しめればと練習を始めました。初めは「本当に記憶できるようになるのか？」と疑いを抱いていましたが、日に日に記録が伸びていくのが嬉しく気づけば熱中していました。昨年度にはYCU Student Awardを頂戴しました。

今年末には、ドイツで開催される世界大会に参加予定です。

主な受賞歴

- 2022年 江戸川Speed Cards Challenge単発部門優勝・女子日本記録更新
- 2022年 Korea Memory League Championship（韓国大会）優勝
- 2022年 Japan Memory League Championship（日本大会）第3位
- 2023年 World Memory League Championship（世界大会）ベスト16入賞

横浜市立大学基金へのご支援の御礼およびご報告

昨年度の進交会報にてご支援をお願いいたしました横浜市立大学基金には進交会様から団体としてご支援をいただき、さらに卒業生の皆様から588件に上るご寄附をいただきました。教職員一同、心より感謝申し上げます。

令和2年度に募集を開始した「新型コロナウイルス対策基金」は令和5年3月末に終了いたしました。進交会員の皆様からたくさんのご支援を賜り、重ねて御礼申し上げます。お寄せいただいた寄附金は、学生の食の支援や遠隔授業を行うための環境整備のほか、医療従事者の感染予防対策など有効に活用しております。詳細は大学Webサイトに掲載しておりますので、是非ご覧ください。

現在、横浜市立大学では、2028年の創立100周年に向けた記念事業へのご支援を募っております。引き続き皆様からの温かいご支援ご協力をよろしくお願いたします。



新型コロナウイルス対策基金へのお礼、活用状況に関してはこちら

寄附実績のご報告

令和4年4月1日～令和5年3月31日
 寄附件数
 1,047件
 (うち卒業生から 588件)
 寄附金総額
 209,150,530円
 (うち卒業生から 144,170,001円)

詳しい情報は大学Webサイトをご覧ください。インターネットからもお申込みいただけます。

YCU100募金 寄附

検索



問い合わせ先
 横浜市立大学 基金担当
 TEL：045-787-2447
 E-mail：kifu@yokohama-cu.ac.jp

大学だより

◆令和4年度卒業生の進路

国際教養学部、国際商学部、理学部およびデータサイエンス学部の卒業生の進路を紹介します。国際教養学部、国際商学部、理学部は学部再編後、初の卒業生輩出になります。

国際商学部 就職内定率*1 99.5% 進学率*2 1.7% 就職先/進学先の例 ・横浜市役所 ・横浜銀行 ・オープンハウスグループ ・クボタ ・日立システムズ ・NTTファイナンス ・TIS ・University of Edinburgh Business School	国際教養学部 就職内定率*1 97.5% 進学率*2 5.3% 就職先/進学先の例 ・横浜市役所 ・エムスリーキャリア ・神奈川県庁 ・横浜市社会事業協会 ・外務省 ・三井不動産リアルティ ・横浜岡田屋 ・横浜市立大学大学院 ・東京学芸大学大学院
---	--

※1 就職内定率：就職者数÷就職希望者数
 ※2 進学率：進学者数÷卒業生数

データサイエンス学部 就職内定率*1 100% 進学率*2 27.9% 就職先/進学先の例 ・ANAシステムズ ・電通デジタル ・日本アイ・ビー・エム ・横浜銀行 ・福岡ソフトバンクホークス ・東京医科大学大学院	理学部 就職内定率*1 100% 進学率*2 66.7% 就職先/進学先の例 ・NTTドコモ ・京セラ ・農林水産省 ・大和総研 ・横浜市立大学大学院 ・京都大学大学院
--	--

※1 就職内定率：就職者数÷就職希望者数
 ※2 進学率：進学者数÷卒業生数

◆数字で見るYCU
 ・留学生数125人（12カ国・地域）
 （令和5年5月1日現在）
 ・医師国家試験合格率 97.9%
 令和4年度医学部医学科の実績
 （全国平均91.6%）※既卒含む
 ・看護師国家試験合格率 100%
 令和4年度医学部看護学科の実績
 （全国平均90.8%）
 ・男女比 男子41% 女子59%
 （令和5年5月1日現在 学部生）

研究科	学生数	博士前期	博士後期
都市社会文化研究科	68	49	19
国際マネジメント研究科	43	35	8
生命ナノシステム科学研究科	134	118	16
生命医科学研究科	121	85	36
データサイエンス研究科	95	81	14
医学研究科医科学専攻	437	38	399
医学研究科看護学専攻	68	44	24
合計（人）	966	450	516

学部	学生数	男子	女子	
国際総合科学部	68	34	34	
国際教養学部	1,253	303	950	
国際商学部	1,165	577	588	
理学部	519	268	251	
データサイエンス学部	259	184	75	
医学部	医学科	557	343	214
	看護学科	411	9	402
合計（人）	4,232	1,718	2,514	

◆横浜市立大学の学生数
 （令和5年5月1日現在）

卒業生のためのオープンキャンパス
 令和5年12月9日（土）YCU金沢八景キャンパス
 いちよう並木がきれいな時期に卒業生向けに金沢八景キャンパスを1日開放します！



2028年は大学創立100周年！
 あなたの思い出の写真で百年史を彩りませんか？
 周年史に掲載する写真を募集しています。詳細は、下記連絡先までお問い合わせください。
 横浜市立大学 百年史編集委員会 事務局 Tel. 045-787-2076
 ※原簿、ご提供いただいた写真は返却いたしません。

横浜市立大学周年史
 デジタルアーカイブはこちら。



Vol.14 令和5年8月発行

☆お問合せ先
 広報課 卒業生・基金担当
 Tel 045-787-2026
 Mail:bog@yokohama-cu.ac.jp

◆YCU通信
 「YCU通信」は毎年、卒業生の皆様のご自宅にお届けしている大学発行の卒業生向け広報誌です。大学や在学生の今、卒業生の活躍情報などをお届けしています。広報誌が届いていないという方、住所変更を希望される方はお問合せ先までご連絡ください。

支部だより

令和5年度近畿進交会総会及び「集い」のご案内

近畿進交会会長 麻野 広行 (商昭50卒)
 今年度は、野々山隆幸横浜国立大学
 名誉教授による特別講義があります。
 関西在住の野々山ゼミ出身者は、全員
 集合されたし！

野々山隆幸名誉教授の談話から

「関西に多くの野々山ゼミ出身者がいますね。頼もしいかぎりです。「集い」の当日、お会いできれば教師冥利につきます。参集を呼びかけていただくようお願いいたします。1時間程度の特別講義、お引き受けいたします。」



テーマ「セブン&アイ・ホールディングスの経営戦略」
 多角化から選択と集中」

横浜市立大学の源流は、横浜市立横浜商業専門学校(Y専)です。Y専の卒業生に伊藤ヨーカ堂グループ創業者の故・伊藤雅俊氏がいます。

「しんこう」78号(9/20発送予定)に案内ハガキ同封、メールでも受付ます。
 日時..11月12日(日)12時~15時
 場所..大阪新阪急ホテル(大阪駅前)
 費用..八千円(懇親会費含む)
 連絡先.. asano3300ha@yahoo.co.jp

関西に在住されていないなくても野々山隆幸名誉教授に久しぶりにお会いしたいと思われの方も大歓迎です。

なお、令和4年度総会及び「集い」は進交会ホームページをご覧ください。

会長交代につき、よろしくお願
 いします。

千葉支部会長 川島 貞夫 (商昭52卒)

昨年11月12日、3年ぶりに第20回総会がポートプラザ千葉にて開催されました。大学からデータサイエンス学部長山崎眞見さん、卒業生担当の田島友美さん及び進交会理事(横市大同窓会事務局)の西尾留美子さんにご臨席いただき、岩瀬良三前会長ほか17名の会員とともに、近況報告等を交えながら親睦を深めました。また、飯野芳郎会長から突然の辞意表明があり、図らずも次期会長に選任されました。

今後とも、支部会員の交流と親睦を

深め、母校の発展のために尽力してまいりますので、ご協力をお願いいたします。

今年度の総会は、11月4日(土)午後1時@ポートプラザ千葉です。
 連絡先.. sadao218@g-mail.com



久しぶりの再会

北陸支部 小林 雅恵 (文昭54卒)

第20回進交会北陸支部総会は令和4年11月3日(木)、ガーデンホテル金沢にて会員9名と横浜市立大学から理事長の小山内いづ美氏、広報課卒業生担当の山崎亮子氏をお迎えして開催さ

れました。令和2~3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止から、総会の開催をやむなく中止としたため、参加者も久しぶりの再会となりました。

はじめに小山内理事長から、横浜市立大学は世界で活躍する人材育成に力を入れており、さまざまな国際的な活動が評価され、学生数5,000人未満の世界大学ランキングで世界16位、日本では2位になっていることなど、母校の活躍の様子をお話しいただきました。

その後、参加者の近況報告や支部の活性化についての提案や意見交換を行いました。今回は例年より参加者は減りましたが、福井県から初参加してくださった会員もいて、大変和やかで楽しい時間を過ごすことができました。

なお、令和5年9月16日に開催された

金沢Jazz Street
 に、横浜市立大学Second Wind Jazz Orchestra
 が出場しました。この演奏会とコラボする形で、同日に令和5年度北陸支部総会ならびに学生との懇親会を開催しました。



会員一人ひとりの思い出話を皆で共有

名古屋支部 三宅 美緒 (文理昭52卒)
 令和5年度 進交会名古屋支部総会

は、6月24日(土)13時より、名古屋市中区大須のイタリアンレストラン「リガリド」にて開催されました。大学からは、学長の相原道子先生、広報課の尾山靖さん、進交会からは副理事長の金子延康さんをお招きして、会員は昭和29年卒から平成8年卒までの、Y校1名、商学部17名、文学部4名、医学部1名の計23名の出席となりました。

最初に、相原学長から、横浜市大がT H E世界大学ランキング2023で国内11位タイ、4年連続公立大学TOPであること、及び各学部の華々しい活躍ぶりを紹介され、また広報課の尾山さんからは、横浜市大基金についての説明と寄附のお願いの話がありました。

懇親会では、出席された会員の在学当時の思い出話に花が咲き、1960年代の学生運動の話や、講義より部活優先の日々であったことなど、今でこそ笑い話になりますが、それぞれが真剣に生きていた学生時代であったことを確認し合い、なごやかな会になりました。

今回は、会員一人一人の話を共有できたことが一番の成果であり、この経験を次回への活動に生かして、より多くの同窓生の方々と、親睦を深めたいと思っております。



進交会だより

活動報告

2022年度(一社)進交会総会
日時 令和5年5月20日(土)
場所 進交会館3階会議室
出席者 47名(委任状42名)
右記の通り開催し、第1号議案 2022年度事業報告(案)、第2号議案 2022年度貸借対照表及び正味財産増減計算書(案)はすべて承認されました。

進交会報Y校版のトピックス

「小野光景の功績と偉大さを学ぶ」
小野光景は、信濃国伊那郡小野村の名家の子として生まれた。
1882年(明治15年)Y校の前身であり、横浜市大のルーツでもある横浜商法学校を創立した。
翌1883年、絹糸輸出商社の小野商店を創業。その後横浜正金銀行(東京銀行の前身)頭取、横浜商工会議所会頭などを歴任。郷里の小野で小野駅の開設や、私財を投じて学校、図書館、病院等の建設に貢献した。



※進交会ホームページ「進交会報第89号(Y校版)」に関連の投稿記事があります。

正味財産増減計算書総括表

自 令和4年 4月 1日
至 令和5年 3月 31日
(単位:円)

Table with 5 columns: 科目, 一般会計, 特別会計, 美澤基金, 総合計. Rows include (1) 経常収益, (2) 経常費用, and summary rows for net assets.

貸借対照表総括表

令和5年3月31日現在
(単位:円)

Table with 5 columns: 科目, 一般会計, 特別会計, 美澤基金, 総合計. Rows include I 資産の部, II 負債の部, and III 正味財産の部.

Y校から今日(イマ)を目指して職人に賭けた『一生』
質実剛健を旨とし誠を尽くす職人になろうと
今、創業106年
畳と襖、小修理の専門店。和の文化を守る。

森下和装工業株式会社

代表 森下 正勝

昭37年Y校卒 (硬式野球部)

〒245-0004

横浜市泉区領家3-9-7 電話 045-811-4696



森下正勝 著 (文芸社)

『消費税は減税できる』絶賛発売中

まごころ・信頼・サービスをお届けします。



●業務用酒類卸 ●スーパーマーケット

●お酒スーパー ●業務スーパー

〒232-0016

横浜市南区宮元町4丁目9番地 TEL 045(741)4747

訃報

平成18年 宮澤 三夫 (昭52商)
 平成19年 廣瀬 猛雄 (昭32文)
 平成22年 渡辺 隆一郎 (昭24医専)
 平成24年 吉岡 光矢 (昭51商)
 平成25年 永田 慎典 (昭37商)
 平成27年 山口 昭男 (昭26医専)
 後谷 昌男 (昭33商)
 吉岡 正明 (昭43商)
 春木 繁一 (昭42医)
 平成28年 水野 志保子 (昭52二看)
 平成29年 前田 直純 (昭18専)
 柳沢 春夫 (昭22専)
 平成30年 平原 吉春 (昭32商)
 令和元年 太田 容之助 (昭54文)
 大下 秀夫 (昭39商)
 嶋田 鋭二 (昭38文)
 平松 章 (昭40文)
 令和2年 染谷 桂助 (昭25専)
 船越 長遠 (昭26医専)
 佐藤 康 (昭30商)
 大羽 利典 (昭31商)
 山本 日出夫 (昭31商)
 柏木 政伸 (昭33医)
 大村 守一 (昭35商)
 天野 賢次 (昭45文)
 天木 重喜 (昭46商)
 令和3年 安永 貴則 (昭23専)
 石黒 吉太郎 (昭24専)
 大武 秋笙 (昭24医専)
 村上 隆 (昭25専)
 米山 裕 (昭31商)
 山森 希典 (昭31文)
 中浦 透 (昭31医)
 三浦 鉄夫 (昭32商)

高田 正道 (昭32理)
 前川 耕作 (昭34商)
 秋田 久道 (昭34商)
 北澤 弘三 (昭34商)
 清水 道三 (昭35文)
 堀内 弘二 (昭35理)
 中沢 保三 (昭37商)
 橋本 十三夫 (昭37商)
 飯島 弘巳 (昭39文)
 立花 義遠 (昭42文)
 染井 佳夫 (昭46文)
 令和4年 藤本 明 (昭16専)
 浅野 稔 (昭18専)
 新井 豊 (昭20専)
 栗原 政雄 (昭20専)
 石橋 喜夫 (昭23専)
 添田 泰孝 (昭24医専)
 土屋 彰 (昭25専)
 武野 智 (昭25医専)
 吉野 二男 (昭26医専)
 二宮 利明 (昭28医)
 土屋 義雄 (昭28商)
 明石 宗一 (昭29商)
 北村 巨 (昭29商)
 伊津 守男 (昭30商)
 富永 禎郎 (昭30商)
 佐藤 升 (昭31商)
 鈴木 靖之 (昭31商)
 長坂 文亮 (昭31商)
 宮原 亮 (昭31商)
 梅原 仁雄 (昭32商)
 石河 利雄 (昭32文)
 三河 喜夫 (昭32文)
 江原 徹也 (昭32医)
 江川 伸二 (昭33商)
 掛川 慶一郎 (昭33商)
 小川 伸一郎 (昭33文)
 松野 左門 (昭33文)
 矢野 秀雄 (昭33理)
 赤畑 宏 (昭34医)
 赤澤 芳三 (昭35商)
 齊藤 真一 (昭35商)
 古内 康夫 (昭35商)
 真田 介 (昭35文)
 小笠原 俊介 (昭36商)

木原 健一郎 (昭36商)
 浅井 敬 (昭37文)
 坂本 実 (昭37文)
 倉田 紀治 (昭38商)
 藤田 武人 (昭38文)
 内池 正子 (昭38文)
 藤岡 一明 (昭38文)
 新谷 迪子 (昭39文)
 鎌田 邦夫 (昭43数)
 白井 世彦 (昭44文)
 加藤 勝彦 (昭45文)
 堀越 武男 (昭45文)
 星野 泰則 (昭46医)
 藤本 泰 (昭48医)
 水野 修 (昭49商)
 村上 フミヒコ (昭49商)
 高木 美砂子 (昭50文)
 荒木 重行 (昭51商)
 五島 明彦 (昭54医)
 佐藤 誠昭 (昭57数)
 小松 松 (昭59商)
 令和5年 伊藤 雅俊 (昭19専)
 山本 治夫 (昭30商)
 山波 直暢 (昭32文)
 佐古 研 (昭34医)
 井出 和勇 (昭37商)
 大野 桂一 (昭38商)
 高野 滋 (昭39商)
 安藤 博志 (昭39商)
 田村 隆世 (昭39商)
 寺西 一紘 (昭39商)
 高橋 進三 (昭40文)
 市川 壽三 (昭45商)
 不明
 長谷川 俊晴 (昭12専)
 井上 正雄 (昭32文)
 村上 寛 (昭34商)
 野口 幹夫 (昭34商)
 佐々木 利弘 (昭37文)
 渡辺 新 (昭42文)

**令和6年 進交会
 新年懇親会のお知らせ**
 日時 令和6年1月27日(土)
 午前11時30分 開会
 場所 崎陽軒本店 4階
 ※詳細は進交会事務局まで

編集後記

菊香る候、進交会員の皆様には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、進交会報第89号はY校版と市大版の分冊発行3年目となります。それぞれの特色ある活動の様子をお読みいただいていることと存じます。

次年度には、進交会報90号となります。広報・HP委員会では、紙面のより一層の充実と工夫を進めたいと考えております。

そこで、進交会報の充実を目指して会員の皆様から企画等のご意見ご示唆をいただきたく存じます。左のQRコードからお願いいたします。

あわせて会報への広告掲載も募集しておりますので、宜しく願ひ申し上げます。

また、進交会ホームページをご覧の方々が増加傾向にあります。今後も母校愛を深め、進交会(同窓会)活動が活発になりますよう努めてまいります。

末尾となりましたが、ご寄稿・広告掲載いただきました方々に厚くお礼申し上げますとともに、皆様から会報やホームページへのご寄稿をお待ちしております。

会報・HP委員長
 桑原 正子(文昭41卒)



麵処 おおぎ (進交会館1階)
 うどんと酒肴

◎馬車道・横浜市役所前店(進交会館1F)
 横浜市中区相生町6-111 電話 045-681-2152

◎大通り公園前本店
 横浜市中区蓬萊町1-1-3 電話 045-243-0390

◎常磐町店
 横浜市中区常磐町3-22-3 電話 045-232-4040

tatesin 商業施設・オフィス・リノベーション・設計施工

株式会社タテシン
 会長 渡辺清和
 (Y校 昭和45年卒 バドミントン部)

一級建築士事務所

〒232-0022 横浜市中区高根町4-29
 ☎045-242-1320 ☎045-262-4026 (不動産部)